

令和元年9月14日（土）

日本緑化工学会

令和元年 通常総会

九州産業大学 15201教室
（福岡市東区松香台）

－ 次 第 －

1. 開 会
2. 会長挨拶
3. 議長選出
4. 議 案
 - (1) 第一号議案 平成30年度事業報告
 - (2) 第二号議案 平成30年度決算報告
 - (3) 第三号議案 令和元年度事業計画案
 - (4) 第四号議案 令和元年度収支予算案
 - (5) 第五号議案 会則の改定
 - (6) 第六号議案 役員の改選
 - (7) その他
5. 閉 会

第一号議案

日本緑化工学会 平成 30 年度事業報告

(平成 30 年 8 月 1 日～令和元年 7 月 31 日)

1. 第 49 回日本緑化工学会大会 ―日本緑化工学会設立 30 周年記念大会―

開催年月日：平成 30 (2018) 年 9 月 15 日～17 日

開催地：東京都市大学 横浜キャンパス (神奈川県横浜市)

発表題数：95 題 (論文 19 件, 技術報告 33 件, 研究交流発表 43 件)

(口頭発表 17 件, ポスター発表 78 件)

2. シンポジウム

(1) 学会設立 30 周年記念大会シンポジウム

開催予定年月日：2018 年 9 月 15 日 (日) 15:30 ～ 18:00

開催場所：東京都市大学

テーマ：「持続可能な都市創造に果たすみどりの役割」

3. 現地見学会

(1) シンポジウムと連動した見学会

開催日時：2017 年 9 月 17 日 (月)

開催場所：二子玉川ライズ

テーマ 1 「都市防災：特に樹木の防災能力と維持・管理について」

テーマ 2 「屋上緑化の多様な評価手法について」

米国農務省が進める i-Tree Eco 生態系サービス評価の試み」

テーマ 3 「市民科学とボランティア」

テーマ 4 「住民の健康と緑化」

参加者数：48 名

(2) 現地見学会「東北中央道 現場見学会」

開催日時：2018 年 12 月 7 日 (金) 8:30 ～ 17:00

見学地：東北中央自動車道 南陽高畠 IC～山形上山 IC (建設中)

参加者数：11 名

4. 研究会等 (研究部会主催)

(1) 斜面緑化研究部会

① 第 49 回日本緑化工学会にて生態・環境緑化研究部会と合同の研究集会を企画

開催日時：2018 年 9 月 15 日 (土) 13:30～15:30

開催場所：東京都市大学 横浜キャンパス 3 号館 3 階 33K 教室

テーマ：シカの食害から考える緑化斜面における植生管理のあり方

参加者数：128 名

本誌 第 44 巻第 3 号 (2019) 469-486 に特集記事として掲載。

(2) 都市緑化技術研究部会

- ① シンポジウム開催：テーマ「グリーンインフラの実装に向けて」

開催日時：2019年6月19日（水）13:00～17:00

開催場所：東京都市大学二子玉川夢キャンパス

参加人数：240名

(3) 生態・環境緑化研究部会

- ① 第49回日本緑化工学会にて斜面緑化研究部会と合同の研究集会を企画（前述）

開催日時：2018年9月15日（土）13:30～15:30

開催場所：東京都市大学 横浜キャンパス 3号館 3階 33K 教室

テーマ：シカの食害から考える緑化斜面における植生管理のあり方

参加者数：128名

本誌 第44巻第3号（2019）469-486 に特集記事として掲載。

- ② 阿蘇プロジェクト中間報告の取りまとめ

（2018年大会にて阿蘇プロジェクト中間報告をかねて、研究交流発表部門ポスター発表
（筆頭発表者：吉原幹事））

- ③ 「阿蘇小規模崩壊地復元プロジェクト」の実施・継続

○ 花暦の作成のため継続的に草原の調査、開花植物の撮影を実施。計36科73属78種を確認。

○ 2018年8月に阿蘇市波野地区の牧野にて草原再生、登山道修復などの現地WSを実施。

○ 10月にススキ種子約40kgを採取。

○ プロジェクト紹介のパンフレットを作成

○ 石灰石鉱業協会 緑化委員会の現地検討会受け入れ（2019年7月18-19日）。

○ 環境省九州地方環境事務所と共同の調査を実施。

○ 活動経費について：研究部会で調査研究助成を申請。その他原則として各自活動費を確保。

<公益財団法人自然保護助成基金 2018年度学協会助成> に採択

「地域植物資源の活用と保全の試み・阿蘇小規模崩壊地復元プロジェクト」

助成期間：2018年4月1日～2019年3月

申請団体：日本緑化工学会 生態・環境緑化研究部会

(4) 乾燥地緑化研究部会

緑化工学会30周年記念特集号における乾燥地緑化研究部会の事業振り返りを踏まえて、今後の課題及び組織体制の変更について検討を行った。

(5) 緑・健康研究部会

- ① 第49回大会シンポジウム「持続可能な都市創造に果たすみどりの役割」にて話題提供

開催日時：2018年9月15日（土）15:30～17:45

開催場所：東京都市大学 横浜キャンパス 3号館 2階 32A教室

テーマ：テーマ4「住民の健康と緑化」

- ② 第49回大会現地見学会「持続可能な都市創造に果たすみどりの役割」にてワークショップ開催

開催日時：2018年9月17日（月・祝）

開催場所：東京都市大学 夢キャンパス

テーマ：テーマ4「住民の健康と緑化」

参加者数：15名

③ 公益財団法人高速道路調査会との共同企画として道路緑化技術検討会を開催

開催日時：2019年5月24日（金）17：00～20：30

開催場所：公益財団法人 高速道路調査会 2階会議室

テーマ：『緑と人の健康』から高速道路サービスエリアの利活用を考える」

参加者数：30名

(6) 生物多様性緑化研究部会 市民参加型で歴史と地形の勉強会を継続的に実施

開催日時：2018年10月6日（土）

開催場所：生田緑地整備事務所 2階市民活動室

テーマ：中西望介氏（戦国史研究会）講演会 「枳形山周辺の中世的景観を探る」

参加者数：20名

開催日時：2019年1月19日（土）

コース：生田緑地，ビジターセンター～長者穴（谷頭凹地，飯室山）～枳形山，広福寺（横山家墓地）

天神社～戸隠不動跡

テーマ：現地見学会「戦国時代の枳形山周辺」地形観察会（中西望介氏の案内）

参加者数：22名

開催日時：2019年6月9日（日）

開催場所：青少年科学館自由学習棟 2階学習室 2

テーマ：ワークショップ「生田緑地歴史地形勉強会」，地図上に情報を整理，講師中西望介氏

参加者数：18名

(7) 海岸林・沿岸域緑化研究部会 第1回公開勉強会

テーマ：新潟に学ぶ海岸の防災と環境保全

開催日時：2018年10月13日（土）9時30分～17時20分

開催場所：グリーン産業株式会社，新潟市内の海岸の視察

参加者数：27名

5. 学会誌の発行

(1) 第44巻1号：平成30年8月31日発行 252ページ（第49回大会特集号）

(2) 第44巻2号：平成30年11月30日発行 162ページ

(3) 第44巻3号：平成31年2月28日発行 151ページ

(4) 第44巻4号：令和元年5月31日発行 78ページ

※第44巻2号に特集「学会設立30周年記念特集」及び「維持管理時代を迎えた道路緑地のグリーンインフラ」を掲載

第44巻3号に特集「持続可能な都市創造に果たすみどりの役割：学会30周年記念シンポジウム及び見学会」，「都市緑化の価値を考える」，「シカの食害から考える緑化斜面における植生管理のあり方」，ポテンシャルに対応した多摩川河川敷の目標とする自然の変化と合意形成の可能性」及び「ラン科など移植困難植物の野外播種試験を用いた保全」を掲載。

第44巻4号に会告「生物多様性保全のための緑化植物の取り扱いに関する提言2019」及び特集「災害と植生管理」を掲載。

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行

- (1) Vol. 15 No. 1 : 2019年1月発行 1-130 ページ (11編)
- (2) Vol. 15 No. 2 : 2019年4月発行 131-240 ページ (12編)
- (3) Vol. 15 No. 3 : 2019年7月発行 241-336 ページ (9編)

・ Impact Factor は 1.469 (2019年9月)

・ LEE (Landscape and Ecological Engineering) 誌のオンラインジャーナル化

2018年11月に行われたICLEE理事会・運営委員会において、2019年発行分より、LEEをオンラインジャーナルとすることが決定した。これまで年2回であった発行回数が年4回に増え、カラージャーナルとなり、カラー印刷が無料になるなど、多くのメリットが生まれた。

7. 平成30年度日本緑化工学会賞の授与

論文賞： 宗岡 寿美 氏

「積雪寒冷地の法面保全と緑化工技術の応用に関する一連の研究」

研究奨励賞： 黒沼 尊紀 氏

「屋上緑化における環境改善能の定量化と環境影響評価」

研究奨励賞： 中島 有美子 氏

「立地条件に応じた広葉樹海岸林の樹林目標に関する研究」

技術奨励賞： 戎谷 遵 氏

「瀬戸内海沿岸における海浜植生の保全エリアの抽出技術」

8. CPD

(1) 緑化・環境 CPD 協議会 会員数 894名 (うち当学会員 596名)

(2) 講習会などの認定と、CPD参加証明書の発行

今期のCPD認定行事によるCPDポイントの認定は、合計61.0Pとなった。

緑化工学会が、シンポジウム 大会 研究集会などを実施し、17.0P発行した。

国土環境緑化協会連合会が講習会を10回実施し、35.0P発行した。

NPO法人日本緑化工協会が講習会を1回実施し、9.0P発行した。

各会場で、CPD参加証明書の発行を行った。

(3) CPDプログラム認定委員会

プログラム認定を随時行った。

(4) その他

ホームページを適宜更新し、認定行事の広報を行った。

9. 学会広報事業

(1) HP 運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

(3) メールによる案内「ニュースメール」の配信

アドレスが登録されている個人会員と、登録要請のあった賛助会員へ連絡事項を配信

10. 研究部門におけるその他活動

(1) 防災学術連携体における活動

1. 防災学術連携体 令和元年度総会に参加（小川委員）

開催日時： 2019年6月13日（木）

11. 学会設立 30 周年事業

記念事業検討委員会では、学会設立 30 周年にあたり次の事業を実施した。

- (1) シンポジウムや研究集会等の企画における「記念ロゴ」活用による PR の推進。
- (2) 学会誌第 44 巻第 2 号（2018 年 11 月発行）での「学会設立 30 周年特集」の掲載。
- (3) 「学会設立 30 周年記念冊子」の基本構成および発行方法の検討。

12. 緑化植物問題の検討

緑化植物問題検討委員会では、2018 年 9 月 1 日、11 月 10 日、12 月 15 日に会議を 3 回開催し、2019 年 1～2 月に募集した提言（案）への意見を検討して、「生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言 2019」を公表した。

13. その他事業

(1) 日本緑化工協会主催「第 40 回緑化工技術講習会」の後援

開催年月日：2019 年 1 月 28 日・29 日

開催地：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

備考：講師派遣

- (2) 街路樹診断協会シンポジウム「世界のアーバンフォレスト政策と樹木のマネジメント」（2019 年 5 月 20 日～24 日）の後援
- (3) 応用生態工学会第 22 回東京大会（2018 年 9 月 20 日～23 日）の後援

14. 会員数（令和元年 7 月末現在。括弧内は←前年度末，←前々年度末，←前々々年度末 の数）

- (1) 名誉会員：8 名 （← 6 名 ← 6 名 ← 7 名）
- (2) 正会員：573 名 （← 604 名 ←606 名 ← 613 名）
- (3) 学生会員：72 名 （← 102 名 ← 99 名 ← 84 名）
- (4) 賛助会員：51 団体 （← 53 団体 ← 55 団体 ←55 団体）
- (5) 購読会員：34 団体 （← 35 団体 ← 37 団体 ←38 団体）

※ 学生会員に対する会費の優遇措置を、2015 年度より実施，継続

平成30(2018)年度 収支報告書
(平成30年 8月 1日 ~ 令和元年 7月31日)

日本緑化工学会

	費目	予算額 (A)	決算額 (B)	差額 (B-A)	対予算割合 (B÷A×100)	摘要
収入の部	正会員費	4,832,000	4,355,754	-476,246	90%	正会員573名/(@8,000) 過年度会費24名+今年度会費523名(前年度前受け9名含む)
	賛助会員費	1,855,000	1,820,000	-35,000	98%	会員数51団体/ 今年度入金52団体(@35,000)
	購読会員費	280,000	304,000	24,000	109%	購読会員34団体/ 今年度入金37団体38口(@8,000)
	学生会員費	408,000	272,000	-136,000	67%	学生会員数72名/(@4,000) 過年度会費5名+今年度会費63名(前年度前受け20名含む)
	入会登録料	42,000	32,900	-9,100	78%	47名(@700)
	英文誌購読料	516,600	411,450	-105,150	80%	オンライン66名(@4,320円)+OL・冊子4名(@7,350円) +未収金回収14名(@7350円)
	投稿料	800,000	784,000	-16,000	98%	通常号(論文・技術報告・短報)、大会特集号(論文・技術報告)
	広告料	1,450,000	2,605,000	1,155,000	180%	Vol.44-1~Vol.44-4分
	雑収入	1,450,000	1,546,370	96,370	107%	別刷・BN販売収入、著作権使用料、利息等、未収金10,800円
	プロジェクト助成金 ※		1,000,000	1,000,000		今年度取得助成を計上 (阿蘇プロジェクト助成:公財自然保護助成基金)
	小計	11,633,600	13,131,474	1,497,874	113%	
	繰越金	3,662,285	3,662,285			
合計	15,295,885	16,793,759	1,497,874	110%		
支出の部	会議費	70,000	52,155	-17,845	75%	理事会・評議会会議室借上費 他
	旅費交通費	500,000	1,258,079	758,079	252%	理事会交通費(第15期:第4回、第6回、第7回、第8回)
	事務人件費	300,000	166,018	-133,982	55%	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通信費	750,000	734,529	-15,471	98%	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	120,000	108,069	-11,931	90%	総務部会事務用品費、コピーリース料
	学会誌刊行費	6,000,000	7,415,739	1,415,739	124%	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用
	英文誌出版分担金	700,000	774,855	74,855	111%	英文誌出版負担金150,000円 英文誌購読費 Vol.14-2 261,975円、Vol.15-1,2 362,880円
	大会補助費	150,000	37,908	-112,092	25%	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	150,000	88,760	-61,240	59%	
	研究部会補助費	100,000	10,000	-90,000	10%	
	プロジェクト補助費	980,000	1,280,000	300,000	131%	前年度助成金に対する活動 980,000円 本年度助成金に対する活動費 300,000円
	委員会等経費	200,000	421,162	221,162	211%	緑化植物委員会 4回、大会誌編集委員会(技術報告・論文)各1回
	事務委託費	1,850,000	1,877,688	27,688	101%	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、 英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	70,000	50,000	-20,000	71%	管理経費
	諸会費	150,000	160,000	10,000	107%	JABEE、JAFEE、防災学術連携体
	災害対策費	50,000	2,696	-47,304	5%	震災調査費用
	雑費	50,000	26,356	-23,644	53%	振込手数料 他
	小計	12,190,000	14,464,014	2,274,014	119%	
	予備費	3,105,885	2,329,745	-776,140	75%	慶弔費 他
合計	15,295,885	16,793,759	3,771,888	110%		

次期繰越金	3,105,885	2,329,745
-------	-----------	-----------

注) ※ 新たに設けた費目

平成30年度 日本緑化工学会の収支決算内容を上記のとおりご報告申し上げます。

令和 元年 9月 12日

日本緑化工学会経理担当理事 中村 剛

平成30(2018)年度 貸借対照表(案)

令和元年 7月 31日現在

借 方		貸 方	
科 目	金 額	科 目	金 額
現 金	17,912	前受け会費	387,740
預 け 金	3,057,400	未払い費用	985,977
未 収 金	628,150	次期繰越金	2,329,745
合 計	3,703,462	合 計	3,703,462

－ 財 産 目 録 －

資産の部

科 目	摘 要	金 額
現 金	事務局	17,912
預 け 金	みずほ銀行 本郷支店	2,171,410
	本郷郵便局	885,990
	小 計 (*1)	3,057,400
未 収 金	BN販売	6,350
	別刷り代	19,800
	投稿料	50,000
	会費	342,000
	広告料	210,000
	小 計	628,150
合 計		3,703,462

負債の部

科 目	摘 要	金 額
前受け会費	正会員	144,000
	学生会員	68,000
	英文誌購読料(OL)	175,740
	小 計	387,740
未払費用	英文誌出版負担金	150,000
	購読費 LEE誌	362,880
	英文誌購読費	3,675
	事務委託費(2019年5月～7月)	469,422
	小 計	985,977
合 計		1,373,717

－ 会 計 監 査 報 告 －

平成30年度(平成30年 8月 1日 ～ 令和元年 7月31日) 収支決算報告書および財産目録に基づき帳簿類を監査したところ、適正であることを認めます。

令和元年 9月 12日

平成30年度 日本緑化工学会
同上

監事
監事

柴田 昌三
中野 裕司

第三号議案

日本緑化工学会 令和元年度事業計画（案）

（令和元年 8 月 1 日～令和 2 年（2020 年）7 月 31 日）

1. 第 50 回日本緑化工学会大会 ―50 回記念大会―

開催年月日： 令和元年 9 月 13 日～15 日

開催地： 九州産業大学（福岡県福岡市東区）

発表題数： 98 題（論文 23 件，技術報告 32 件，研究交流発表 43 件）

（口頭発表 18 件，ポスター発表 80 件）

第 50 回日本緑化工学会 記念シンポジウム（9 月 13 日）

「緑化の減災効果と今後の植生管理」

現地見学会（9 月 13 日）

アクロス福岡（福岡市中央区），海の中道海浜公園（福岡市東区），アイランドシティ中央公園（福岡市東区）

※ 第 51 回大会は 2020 年 9 月に岩手県立大学にて開催予定。

第 52 回大会は 3 学会合同大会「ELR2021」として，東京にて開催予定。

2. 研究会等

(1) 斜面緑化研究部会

① 第 50 回日本緑化工学会にて研究集会を企画

開催日時： 2019 年 9 月 15 日（日）13:00～15:00

開催場所： 九州産業大学 8 号館 2 階 8209 教室

テーマ： 自然侵入促進工の成功例と失敗例を考える 現場事例に学ぶ斜面緑化勉強会（第 9 回）

② “わかやま地域植物緑化研究会” および生態・環境緑化研究部会と共催で現地見学会を企画（案）

開催日時： 2019 年秋季

開催場所： 施工後 5 年程度経過した高野山の道路緑化法面

テーマ： 地域性植物の種子採取，シカ被害，森林表土利用工や地域性種苗利用工のモニタリング

③ 「現場事例に学ぶ斜面緑化勉強会」を年 3～4 回のペース（1 2 月，3 月，6 月，9 月）

で開催できるよう調整していく予定。

(2) 都市緑化技術研究部会

シンポジウム又は勉強会を数回開催予定。

(3) 生態・環境緑化研究部会

① 法面・斜面緑化における種子使用量の把握調査

第 50 回大会の研究集会にて調査結果を報告予定

② 第 50 回日本緑化工学会にて研究集会を企画

開催日時： 2019 年 9 月 15 日（日）12:00～13:00

開催場所： 九州産業大学 8 号館 2 階 8209 教室

テーマ： 地域性種苗の使用実態と今後の活用に向けた取り組み

―阿蘇地域の復旧事業に関連した報告―

③ 「阿蘇小規模崩壊地復元プロジェクト」の継続・2018年とほぼ同内容の現地活動を予定
http://www.jsrt.jp/tech/ASO_project.html

○ 活動経費について：研究部会で調査研究助成を申請。その他原則として各自活動費を確保。
 <公益財団法人自然保護助成基金 2019年度提携助成> に採択

「地域連携による資源活用と保全の試み・阿蘇小規模崩壊地復元プロジェクト」

助成期間：2019年4月1日～2020年3月

申請団体：日本緑化工学会 生態・環境緑化研究部会

④ “わかやま地域植物緑化研究会” および斜面緑化研究部会と共催で現地見学会を企画（前述）

⑤ 環境省九州地方環境事務所の協力により、自然公園内における緑化工事の実施状況の調査を実施

(4) 乾燥地緑化研究部会

① 乾燥地植物と緑化に関わる公開シンポジウムを予定

開催日時：2020年5月

開催場所：岡山大学

沙漠学会 主催，緑化工学会乾燥地緑化研究部会 共催 として開催予定。

テーマ：乾燥地植物の生理生態と緑化（仮）

② 新体制での中長期的な事業計画の検討（乾燥地緑化に関わる書籍出版の検討）

(5) 積雪寒冷地緑化研究部会

令和元年度は、寒冷地斜面緑化に関する研究集会や現場技術者を対象とした講習会を開催予定。

(6) 緑・健康研究部会

① 「緑と人の健康」に関するワークショップを開催予定。時期および開催場所は未定。

② 公益財団法人高速道路調査会との共同企画として道路緑化技術検討会を開催予定。

時期は未定，場所は関西エリアで調整中。

(7) 生物多様性緑化研究部会 市民参加型の勉強会を継続

開催時期：2019年秋

テーマ：生田緑地及び近隣の歴史地形勉強会

（枳形山を中心に小沢城址から作延城址までのエリア）地形の成り立ちについて

開催場所：生田緑地内会議室

参加予定者数：20名

(8) 海岸林・沿岸域緑化研究部会

① 第50回日本緑化工学会にて研究集会の開催

海岸林・沿岸域緑化研究部会 第2回公開勉強会

テーマ：海岸林の再生に向けて－再造林・天然更新・植生遷移の現状と課題－

開催日時：2019年9月15日（日）13:00～15:00

開催場所：九州産業大学 8号館 2階 8205教室

② 第3回 公開勉強会を実施予定。時期や場所，内容は調整中。

（現在活動中の緑化工研究部会）

斜面緑化研究部会 都市緑化技術研究部会 生態・環境緑化研究部会

乾燥地緑化研究部会 積雪寒冷地緑化研究部会 緑・健康研究部会

生物多様性緑化研究部会 海岸林・沿岸域緑化研究部会

3. シンポジウム

年1回以上開催予定（下記以外については詳細検討中）

(1) 第50回記念大会シンポジウム

開催予定年月日：2019年9月13日（金） 15:00～17:30

開催地：九州産業大学

テーマ：「緑化の減災効果と今後の植生管理」

4. 現地見学会

年1回以上開催予定（下記以外については詳細検討中）

(1) 現地見学会

開催年月日：2019年9月13日（金） 10:15～14:30

見学地：アクロス福岡，アイランドシティ中央公園，海の中道海浜公園

テーマ：「都市の自然再生」－未来に向けた福岡の「みどり」を現場で見る

5. 学会誌の発行：4回発行予定（第45巻1号～4号）

第45巻1号（既刊）：令和元年8月31日発行（第50回大会特集号） 270ページ

第45巻2号：令和元年11月末 発行予定

第45巻3号：令和2年2月末 発行予定

第45巻4号：令和2年5月末 発行予定

6. 英文誌 Landscape and Ecological Engineering の発行：4回発行予定（Vol. 15 No. 4, Vol. 16 No. 1, No. 2, No. 3）

7. 学会賞の授与

令和元年度日本緑化工学会賞の授与（令和2年総会にて授与予定）

8. CPD

(1) CPD行事の認定とCPDポイントの付与，CPD参加証明書の発行

(2) HPの更新

(3) 必要に応じ理事会，検討部会，認定委員会を開催（通常の打合せはE-mailにて行う）

9. 学会広報事業

(1) HP運営ワーキンググループによるホームページの運営

(2) 会員向け連絡「ニュースメール」の配信，体制確保

(3) 公式ブログの運営と記事の企画・収集 <http://blog.canpan.info/jsrt/>

10. 学会設立30周年事業の企画検討

記念事業検討委員会では，今期次の事業を進める予定である。

1) 学会財務状況を考慮した「学会設立30周年記念冊子」の基本構成および発行方法の再検討。

11. 緑化植物問題の検討

緑化植物委員会（仮称）において会議を3回開催し、「生物多様性保全のための緑化植物の取り扱い方に関する提言 2019」のビジョンの実現に向けた活動を行う。

12. その他

(1) 防災学術連携体における活動

1. 総会，防災減災学術連携委員会及び防災学術連携体の連絡会に参加予定。
2. 防災学術連携体からの依頼の中で日本緑化工学会が参加できる内容については対応予定。

(2) 後援

1. 応用生態工学会第23回広島大会（2019年9月27日～30日）の後援
2. あまみずコーディネータ養成講座2019（2019年11月15～16日）の後援

日本緑化工学会 令和元(2019)年度 収支予算書

(令和元年 8月 1日 ~ 令和 2年 7月31日)

	費 目	令和元年度 予算額 (A)	H30年度 決算額 (B)	決算額との 差額(A-B)	摘 要
収入の部	正会員費	4,984,000	4,355,754	628,246	会員数 573名 (@8,000)=¥4,584,000 (前年度年初604人) これに加えて前年度未収50名分¥400,000の回収に努める
	賛助会員費	1,855,000	1,820,000	35,000	会員数 51団体 (@35,000)=¥1,785,000(前年度年初53団体) これに加えて新規入会2団体¥70,000の勧誘入会に努める
	購読会員費	280,000	304,000	-24,000	会員数 34団体35口 (@8,000)=¥28,000(前年度年初35団体)
	学生会員費	324,000	272,000	52,000	会員数 72名 (@4,000)=¥288,000(前年度年初102名) これに加えて前年度未収9名分¥36,000の回収に努める
	入会登録料	42,000	32,900	9,100	60名 (@700)=¥42,000(前年度47名)
	英文誌購読料	362,880	411,450	-48,570	前年度当初 正会員68名,学生4名 前年会費(過年度の未収金回収7名¥51,450除くと¥360,000)
	投 稿 料	800,000	784,000	16,000	
	広 告 料	2,005,000	2,605,000	-600,000	Vol.45-1~Vol.45-4分 ¥1,855,000, 過年度分¥750,000 新規広告3件¥150,000の獲得に努める
	雑 収 入	1,500,000	1,546,370	-46,370	別刷・BN販売収入、著作権使用料、利息等
	プロジェクト助成金	0	0	0	H30年度の助成金を含まない。
	小 計	12,152,880	12,131,474	21,406	
	前年度繰越金	1,629,745	2,682,285	-1,052,540	前年度繰越金には、助成金98万円を含まない。
合 計	13,782,625	14,813,759	-1,031,134		
支出の部	会 議 費	55,000	52,155	2,845	会議室借上費 他
	旅費交通費	250,000	1,258,079	-1,008,079	理事会交通費:前年度4回開催 →今年度1回(メール理事会を基本とする)
	事務人件費	180,000	166,018	13,982	本部経費、総務部会事務費、HP・ML管理費、サーバレンタル料
	通 信 費	750,000	734,529	15,471	会誌・会費請求書発送費、電話・FAX料
	事務用品費	100,000	108,069	-8,069	学会賞状・副賞、総務部会事務用品費
	学会誌刊行費	6,400,000	7,415,739	-1,015,739	学会誌編集・製作委託費、J-Stage登録費用
	英文誌出版分担金	510,000	774,855	-264,855	英文誌出版版負担金¥150,000、英文誌購読料¥362,880
	大会補助費	100,000	37,908	62,092	大会開催補助費
	シンポジウム・見学会補助費	100,000	88,760	11,240	
	研究部会補助費	50,000	10,000	40,000	
	プロジェクト補助費	0	0	0	プロジェクト補助費を含まないので、支出は0円とする。
	委員会等経費	400,000	421,162	-21,162	編集委員会、大会誌編集委員会、緑化植物委員会
	事務委託費	1,850,000	1,877,688	-27,688	学会事務業務委託費(会員入退会、会費徴収、会計事務業務、 英文誌刊行事務委託費等)
	CPD等経費	0	50,000	-50,000	管理経費
	諸会費	160,000	160,000	0	JABEE ¥100,000、JAFEE ¥40,000、防災学術連携体 ¥20,000
	災害対策費	25,000	2,696	22,304	震災調査費用
	雑費	50,000	26,356	23,644	振込手数料 他
	小 計	10,980,000	13,184,014	-2,204,014	
	予備費	2,802,625	1,629,745	1,172,880	慶弔費 他
合 計	13,782,625	14,813,759	-1,031,134		

日本緑化工学会会則 (2019年9月14日総会改定案)

昭和41年12月16日制定〔日本緑化工研究会〕
 平成元年5月30日改定〔日本緑化工学会〕
 令和元年9月14日改定(案)

(旧) 現会則 改定部分に下線

第1章 総則

(略)

第2章 会員及び会費

(会費)

第7条 本会の会費は、次のとおりとする。

- (1) 正会員 年額 8,000 円
- (2) 賛助会員 年額 35,000 円以上
- (3) 購読会員 年額 8,000 円
- (4) 学生会員 年額 4,000 円
- (5) 名誉会員 会費を納めることを要しない

2. 欧文誌を購読する場合、以下の金額を追加する。

- (1) 正会員・賛助会員 年額 7,350 円
- (2) 学生会員 年額 4,200 円

(入会)

第8条 本会の会員になろうとする個人または団体は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

2. 入会者は所定の入会手数料を納入しなければならない。

(略)

(新) 会則 改定案

第1章 総則

(略)

第2章 会員及び会費

(会費)

第7条 本会の会費は、次のとおりとする。

- (1) 正会員 年額 8,000 円
- (2) 賛助会員 年額 35,000 円以上
- (3) 購読会員 年額 8,000 円
- (4) 学生会員 年額 4,000 円
- (5) 名誉会員 会費を納めることを要しない

2. 欧文誌を購読する場合、以下の購読費に消費税を加えた金額を追加する。

- (1) オンライン購読のみ 年額 8,000 円
- (2) オンライン+冊子購読 年額 4,000 円

(入会)

第8条 本会の会員になろうとする個人または団体は、入会申込書を会長に提出し、理事会の承認を受けなければならない。

2. 入会者は所定の入会手数料および入会年度の年会費を納入しなければならない。

(略)

(附則の追加)

附則 この会則は、令和元年9月14日から施行する。

(以 上)